

エネルギー講演会

東通村は、国策である原子力政策に協力するとともに、安全性の確保を大前提として、原子力との共生による村づくりを進めています。

しかし、福島第一原子力発電所の事故が発生してから、我が国のエネルギー政策は、数多くの課題が山積みし、今後のエネルギー政策のあり方が大きな議論となっています。

このことを踏まえ、科学技術、環境・エネルギー、原子力、放射線等に精通されている東嶋 和子氏をお招きし、最近のエネルギー事情について、わかりやすく講演していただきます。

どなたでも参加いただけますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。



東嶋 和子 氏

◎演 題：『一緒に考えましょう 私たちの暮らし・環境・エネルギー』

◎講 師：科学ジャーナリスト

とうじま わこ
筑波大学社会・国際学群非常勤講師 東嶋 和子 氏

1985年 筑波大学比較文化学類卒業（日米関係）。
在学中、米国カンザス大学留学。

1985年 読売新聞社入社

1991年～フリーランスジャーナリストとして「いのち」をテーマに科学と社会の関わりを追っている。現在は原子力規制委員会独立行政法人評価委員会、科学技術学術審議会研究開発評価部会等の各委員を務めている。

【受賞歴】外務省外交フォーラム外務大臣賞受賞
原子力学会第7回社会・環境部会賞受賞

日 時：平成26年11月25日（火）

15:00～16:40

会 場：東通村体育館

【参加方法】

参加希望者は、会場準備の都合上、以下の連絡先に電話・FAX等でお申込みください。

※必要事項：所属（役職）・氏名

【問い合わせ・連絡先】

東通村役場 原子力対策課 坂下

電 話：27-2111（内線231）

FAX：27-2501

第10回むつ海洋・環境科学シンポジウム開催

むつ市に所在する日本分析センター、日本海洋科学振興財団、日本原子力研究開発機構、海洋研究開発機構の4研究機関が一堂に会し、海洋・環境科学に関する研究活動の一端を住民の方々にわかりやすくご紹介するシンポジウムを開催します。

詳しくは、次のURLをご覧ください → http://www.jcac.or.jp/mutsu/lib/2014symposium_poster.pdf

【日時】11月11日（火） 13時50分～17時30分

【場所】むつグランドホテル（むつ市大字田名部字下道4）

【入場料】無料

【問合せ先】第10回むつ海洋・環境科学シンポジウム事務局 ☎ 22-9190

（公益財団法人日本分析センターむつ分析科学研究所）

